

1月、2月で194万円余の寄附があった。

条例化については、目的と効果を十分検討し、制定の必要性を判断しなければならない。

今後、ふるさと納税をめぐる動向を注視し、仕組みや方法等を研究する中で検討したい。

●21年度の本市の経済対策

問 厳しい経済状況の中、国と歩調を合わせ、思い切った財政出動をすべきでは。

答 経済・雇用対策として、平成21年度当初予算で土木事業を拡充する等、総額44億円余の公共事業費枠を確保した。

また、中小企業向け融資制度を拡充し、20年度より40億円以上多い252億円の融資残高に対応するため、利子補給金4,700万円を確保した。

国の緊急雇用創出事業交付金等を活用した雇用対策でも1億5,000万円余の事業費を確保する等、経済・雇用対策につながるよう積極的に取り組んでいる。

●雇用対策課の新設

問 経済局に新設される雇用対策課の機能は。

答 就労能力の向上、就労支援、雇用の維持、雇用創出に関する市の全庁統括機能などを持たせる。

施策としては、産業界と一体となった技術習得、就業体験などの支援や、本市が実施している諸施策との連携の下での雇用の維持及び新たな雇用創出策、職業能力開発のための各種講座の開設などが考えられる。

●緑化フェアを契機に都心の緑化を推進

問 全国都市緑化おかやまフェアを機に、どのようにまちを緑化していくのか。

答 本市の目指す都市像である「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」実現のためには都心部の緑化が重要だ。公園や道路、駅前広場などを積極的に緑化すべきと考える。

平成21年度は都心の緑化状況を調査し「都心緑化基本構想」



緑化フェアを彩る樹木が岡山駅東口広場へ

の作成に着手する。また、20年度に引き続き西川緑道公園の再整備を行い、岡山駅東口広場ではフェア会場で使用した樹木を活用した緑化に着手したい。

●学校での携帯電話問題

問 携帯電話利用に対する教育委員会の指導方針は。

答 本市が実施した調査から、保護者が考える携帯電話の利用目的と子どもの利用実態には差があり、また保護者が携帯電話の危険性を十分理解していない実情が見えてきた。

平成20年度中に小・中学校への原則持ち込み禁止の指針を示すとともに、教育委員会が作成している指導資料を活用して保護者へも一層の啓発を図りたい。

政 隆 会

●ごみ有料化に伴う基金活用計画

問 一般廃棄物処理施設整備基金はごみ有料化に伴う収入以外にどのようなものを積み立てているのか。またその活用計画は。

答 他市町からのごみ処理受託収入、産業廃棄物処理手数料等を積立金としている。平成20年度は、ごみ処理施設の修繕などに活用した。今後、西部リサイクルプラザ整備や中間処理施設の大規模修繕、最終処分場の建設費などに活用したい。

●「安心できた」と好評の「こんにちは赤ちゃん事業」

問 岡山市こんにちは赤ちゃん事業の現状と課題は。

答 平成21年2月現在、愛育委員、保健師、助産師が20年10月生まれの子どもの約92.4%に当たる477人を訪問した。その中で支援が必要な家庭

は6件だった。本事業はまだ十分に周知されていないので、事業の周知徹底に努めたい。また、外国人へのより細やかな対応についても検討が必要だ。

●サービス提供窓口の整備で利便性の向上を

問 ①東福社区管内と南福社区管内のサービス提供窓口の整備状況は②連絡所やサービスコーナーはどのような機能拡充を行うのか。

答 ①富山、福浜中学校区に地域センターを整備する方向で施設の検討を行っている②住民異動届や国民健康保険及び国民年金の資格取得や喪失の届出受付等の事務を取り扱う「市民サービスセンター」とし、機能拡充のために必要な場合は施設整備も検討する。

●自転車の利用環境向上策

問 都市交通戦略で本市が目指す自転車利用環境の向上